

事業報告

<研修名>

平成30年度 「協育」ネットワーク支援者研修会

<開催日時>

平成30年10月9日（火） 10:00～15:00

<会場>

大分県教育会館 多目的ホール・101研修室

<参加人数>

124名

<研修趣旨>

「放課後子ども総合プラン」をさらに推進し、児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行えるように、小学生チャレンジ教室や放課後児童クラブの関係者の資質向上と相互連携の強化を図る。

<研修内容>

【研修1】活動事例の発表

テーマ：「小学生チャレンジ教室と放課後児童クラブの連携」

発表者：九重町南山田公民館 「協育」コーディネーター 上原 啓介 氏
九重町教育委員会社会教育課 統括アドバイザー 衛藤 潔範 氏

九重町の南山田公民館で行われている、小学生チャレンジ教室と放課後児童クラブの連携のようすについて報告がありました。公民館及び隣接するグラウンドや体育館を活用した児童クラブとチャレンジ教室の連携や、公共のバスを利用した児童の移動などが特徴的でした。

【研修2】（分科会1）プログラムについての情報交換（グループ協議）

テーマ：「子どもがよろこぶ！人気の体験プログラム」

参加者が日頃行っている体験プログラムについてグループ内で紹介し合い、それをもとに小学生チャレンジ教室と放課後児童クラブが連携して取り組むことができる体験プログラムについて協議しました。

【研修2】（分科会2）連携促進についての協議

テーマ：「小学生チャレンジ教室と放課後児童クラブの連携を進めるには」

行政職員を対象に、「新・放課後子ども総合プラン」について説明し、各市町村での「放課後子ども総合プラン」の推進状況について確認した後、小学生チャレンジ教室と放課後児童クラブの連携について各市町村が抱える課題や解決策について協議しました。

【研修3】講義・演習

演題：「子どもたちを災害から守るために」

講師：大分大学理工学部 教授

大分大学減災・復興デザイン教育研究センター センター長 小林 祐司 氏

前半は、危機管理とリスクコミュニケーションについて講義があり、普段からリスクマネジメントについて考えた上で「臨機応変」に対応すること、大人が正しい知識を持って行動することなどについてお話がありました。後半は災害対応カードゲーム「クロスロード」を用いて、災害への対応力を培いました。

<当日の様子（写真）>

【研修1】



【研修2】分科会 1



【研修2】分科会 2



【研修3】



＜参加者感想＞

- ・地域によって教室とクラブの連携のあり方が様々なのがわかり、その中でよい所を取り入れられたらいいなと思った。(教室)
- ・教室とクラブの連携の具体案をもっと打ち出していかなければならないのでは?と感じた。この連携は、結果、多くの子どもを成長させると思う。(教室)
- ・午前中の情報交換は早速ヒントになることがあり、ためになった。午後の防災・減災については、風化しないように何度受けてもよい講義だと思う。(クラブ)
- ・学校、地域、クラブ等で連携をとって、子どもたちを支えていくことが大切だと実感した。(クラブ)

※小学生チャレンジ教室と放課後児童クラブの連携にむけて、取り組みそうなプログラム

- 「勉強型」「体験型」両方をうまく合わせて取り組むといい。
- お寺などでの食事作法、座禅(呼吸法)など、子どもを上手くしつけながら日頃できないことをさせると良い。日頃経験できないことをさせるとよい。
- プログラムで、活動に保護者を取り込む内容があればよいかも。
- 外部講師に依頼すると幅が広がる。
- 公民館である子ども教室などでの市のバス等の利用。
- 小規模校は、近くの大規模校と合同でやりたい。
- 体育館を使うスポーツに関することは連携できると思う。
- お互いに連携を密にする。コーディネーターの力(企画・講師・地域との関わり)。
- 座禅教室、陶芸教室、マナー教室、手話、大学生との交流 等。
- 学校との連携を密にして、学校の空き教室を利用してできるように話をする。放課後に空き教室を利用して、子どもに体験教室をさせてあげたい。その講師は、地域との連携を大切に。
- 本拠地で取り組むプログラム(イベント的なもの): 夏休みの縁日会、お誕生日会、駄菓子屋さんごっこ、遊ぼう会(グラウンド、体育館を利用して)
- 外出するプログラム(出向いて): デイサービスの利用者さんとのふれあい、観劇会、スケート体験、土曜教室でネイチャーゲーム等公園などで実施、長期休暇に公民館で実施(工作、科学教室、お茶体験、クッキング 等)
- 室内活動: アクアドーム、ストローアイロンビーズ、パソコン、そろばん、理科実験、英会話、5教科の学習、大学生との交流(各国の行事、各国のあそび等)
- 室外: 保護者と児童と一緒に夕涼み会をする(保護者どうしの交流も兼ねる)、バスを貸しきって牧場に行ったり、どんぐり拾いに行ったりして自然に触れ合う。
- 工作(夏休みの宿題を兼ねて)、クッキング(柏餅作り、石垣餅作り 等)、クリスマス会、節分、ひな祭り、6年生を送る会
- 門松作り、クリスマスリース作り等の行事ごとのイベント
- 大学生のサークルからの交流イベントの申し出
- 地域のつながりでやれることが広がり、協力を得られやすい。
- ダンボールハウス作りで学校に泊まる。(小学校の体育館を借りる)
- 工作クラブ、ハンドメイド(ものづくり)
- 子ども教室と児童クラブで講師を共有すると連携しやすい。